1. **高綱 博文, 石川 照子, 邵 迎建, 等 :** 戦時上海のメディア, --- 『万世流芳』論――花木兰から張静嫻へ ---, 研文出版, 東京, 2016年10月.
2. **村上 敬一, 他 :** 新日本言語地図, 朝倉書店, 東京, 2016年12月.
3. **村上 敬一, 他数名 :** 47都道府県・方言百科, 丸善出版, 東京, 2017年1月.
4. **新田 元規 :** 殤後立継・間代立継の礼解釈論 : 顧炎武の立継問題をめぐって, *東方學, 132,* 56-72, 2016年.
5. **堤 和博 :** 『蜻蛉日記』上巻の桃の節供の折を逸した贈答歌, *詞林, 60,* 1-18, 2016年.
6. **邵 迎建 :** 革命，戦争与女性――白薇的《打出幽霊塔》, **22,** 123-137, 2016年.
7. **邵 迎建 :** 借古喩今:戦時上海の電影策略, --- 従『木蘭従軍』到『万世流芳』『春江遺恨』 ---, *抗戦文史研究 第5集,* 165-176, 2016年.
8. **堤 和博 :** 『蜻蛉日記』上巻の桃の節供の日とその翌日の場面, *徳島大学総合科学部言語文化研究,* **24,** 1-21, 2016年.
9. **荒武 達朗 :** 1938年黄河決潰事件と『新黄河流域図』, *徳島大学総合科学部人間社会文化研究,* **24,** 75-92, 2016年.
10. **荒武 達朗 :** 嘉慶年間中国本土の郷村役 : 南満洲地域との比較, *徳島大学総合科学部人間社会文化研究,* **24,** 25-74, 2016年.
11. **新田 元規 :** 清初期士大夫の礼実践における「相互規制」の様相 : 汪琬の立継と王弘撰の服喪を事例として, *徳島大学総合科学部人間社会文化研究, 24,* 1-23, 2016年.
12. **邵 迎建 :** 「无思想之思想‐-论李长声的『知日』话语」, *徳島大学総合科学部言語文化研究,* **24,** 89-107, 2016年.
13. **荒武 達朗 :** 明治末年徳島県における台湾移民の送出 ──北海道，朝鮮そして台湾──, *文明21, 38,* 31-47, 2017年.
14. **葭森 健介 :** 小松昌弘「内藤湖南没後八〇年の評価」を読む, *書論, 42,* 288-289, 2016年8月.
15. **村上 敬一 :** 災害時の日本語を考える -生命を守るための日本語のあり方とは-, *育達科技大學2016年應用日語國際學術研討會,* 1-9, 2016年6月.
16. **邵 迎建 :** 「上海における話劇(1946-49)」, *「文化空間と文化融合」国際シンポジウム,* 中国上海, 2016年8月.
17. **邵 迎建 :** 「『万世師表』及其他――抗日戦争知識人的故事」, *「中日文学与文化往来」国際シンポジュウム,* 昆明, 2016年9月.
18. **堤 和博 :** 『蜻蛉日記』:桃の節供の折を逸した翌日の贈答歌, *中日文学与文化交往対話国際学術検討会,* 2016年9月.
19. **邵 迎建 :** 「『万世师表』及其他――从重慶到上海」, *「1940年代战时宣传及媒体表象」国際シンポジュウム,* 北京, 2016年10月.
20. **富塚 昌輝 :** 履歴のほころび，あるいは「未発の真理」の徴候, *日本近代文学会,* 2016年10月.
21. **邵 迎建 :** 張愛玲と日本文化, *『戦時上海グレーゾン』, 421,* 237-239, 2017年2月.
22. **竹田 晃, 大木 康, 田中 智行 :** 中国文化事典(担当項目:「金瓶梅」), 丸善出版, 2017年4月.
23. **葭森 健介 :** 谷川道雄中国史論集 上·下, 汲古書院, 東京, 2017年12月.
24. **村上 敬一 :** 鉄道沿線と関西弁, 2018年3月.
25. **葭森 健介 :** 安田二郎著≪六朝政治史研究≫評介, *中国史研究動態,* **2017,** *4,* 73-78, 2017年.
26. **荒武 達朗 :** "闘争の果実"と農村経済 : 1945-47年山東省南東部, *中国研究月報,* **71,** *10,* 1-16, 2017年.
27. **新田 元規 :** 明末清初における于謙の評価問題, *徳島大学総合科学部人間社会文化研究, 25,* 86-147, 2017年.
28. **荒武 達朗 :** 戦火の土地改革 : 1945-48年山東省濱海区地域社会の変動, *徳島大学総合科学部人間社会文化研究,* **25,** 27-67, 2017年.
29. **堤 和博 :** 『蜻蛉日記』上巻前半部の長歌贈答をめぐる考察, *言語文化研究徳島大学総合科学部,* **25,** 1-29, 2017年.
30. **新田 元規 :** 四書五経，天の祭祀，君主の即位，死の儀礼，祖先祭祀, *中国文化事典編集委員会〔編〕『中国文化事典』(丸善),* 212-221, 2017年4月.
31. **富塚 昌輝, 小森 陽一, 飯田 祐子, 五味渕 典嗣, 佐藤 泉 :** 「大町桂月」「尾崎紅葉」「義理」, *漱石辞典,* 2017年5月.
32. **荒武 達朗 :** 書評 山本真著『近現代中国における社会と国家 : 福建省での革命,行政の制度化,戦時動員』, *中国研究月報,* **71,** *9,* 28-31, 2017年9月.
33. **村上 敬一 :** コホート系列法による地域方言研究と社会活動の実践, *育達科技大学2017年應用日語學術研討會,* 1-6, 台湾造橋郷, 2017年5月.
34. **邵 迎建 :** 文学が彼女たちを裏切ったのか, --- 林奕含『房思琪の初恋楽園』を読む ---, *第十三回中国女性文学学術検討会,* 中国長春, 2017年6月.
35. **葭森 健介 :** 魏晋南北朝史研究的成果与展望, --- 日中韓三国的学術交流二十五年 ---, *魏晋南北朝史学会第12回年会,* **12,** 中国 邯鄲, 2017年8月.
36. **葭森 健介 :** 中国史上的≪中世紀≫, --- 従世界史来看中国的中世紀 ---, *中国社会科学院歴史研究所秦漢史系列講座,* 北京, 2017年8月.
37. **富塚 昌輝 :** 日本近代文学における巡査表象の研究, *The 4th International Conference of BK21+ Project,* 2017年10月.
38. **荒武 達朗 :** 嘉義「灣生」的口述歷史 コメンテーター, *嘉義研究国際シンポジウム,* 嘉義, 2017年10月.
39. **村上 敬一 :** イノベーションの観点から見た日本の言語教育, *2017全球化創新経営管理国際研討会,* 2017年10月.
40. **村上 敬一 :** 災害時における地域方言をめぐって, *韓国日本語学会第37回春季学術研究会,* 2018年3月.
41. **村上 敬一, 田島 幹大, 吉平 彩加 :** 地域方言を題材とした高大連携による教育活動の実践, *日本方言研究会第104回研究発表会,* 41-44, 2017年5月.
42. **富塚 昌輝 :** 一九九五年の「たけくらべ」―伊藤たかみ「助手席にて，グルグル・ダンスを踊って」をめぐって, *日本近代文学会,* 2017年5月.
43. **新田 元規 :** 費密『弘道書』の「道統」「道脈」論における明代思想の継承, *日本中国学会第69回大会(山形大学),* 2017年10月.
44. **村上 敬一 :** 災害時を想定した実践方言研究の試み, *第1回実践方言研究会,* 2017年11月.
45. **邵 迎建 :** 是誰辜負了她們--讀林奕含《房思琪的初戀樂園》, 2017年7月.
46. **植野 美彦, 澤田 麻衣子, 荒武 達朗, 橋本 一郎, 二川 健, 安井 敏之, 浜田 賢一, 白山 靖彦, 山田 健一, 北條 昌秀, 音井 威重, 古屋 S. 玲, 関 陽介 :** 平成29年度 徳島大学総合教育センターアドミッション部門 報告書, *平成29年度 徳島大学総合教育センターアドミッション部門 報告書,* 2018年3月.
47. **田中 智行 :** 新訳 金瓶梅 上巻, 鳥影社, 諏訪, 2018年4月.
48. **富塚 昌輝, 井原 あや, 梅澤 亜由美, 大木 志門, 大原 祐治 :** 〈私〉の旅日記―坪内逍遙「旅ごろも」, 2018年10月.
49. **新田 元規 :** 費密『弘道書』の「道脈」「道統」論, *日本中国学会報, 70,* 162-176, 2018年.
50. **堤 和博 :** 道綱母と時姫の二組の贈答歌―『蜻蛉日記』上巻前半部における町の小路の女の存在と関わって―, *古代中世文学論考第37集,* 2018年.
51. **堤 和博 :** 『蜻蛉日記』上巻後半部の道綱母と時姫の短連歌―平安時代短連歌史と関わらせての考察―, *詞林, 64,* 2018年.
52. **荒武 達朗 :** 19世紀初頭満洲地域社会の変容 : 高麗溝事件に見る満洲の陸と海, *徳島大学総合科学部人間社会文化研究,* **26,** 19-45, 2018年.
53. **新田 元規 :** 学校論の傍流としての黄宗羲『明夷待訪録』「学校篇」, *徳島大学総合科学部人間社会文化研究, 26,* 46-85, 2018年.
54. **富塚 昌輝 :** 近代批評ジャンル成立の一側面―ノルマントン号探検訴訟とその周辺, *言語社会, 13,* 150-165, 2019年.
55. **荒武 達朗 :** 漢民族の満洲移民 (世界史の研究(255)) -- (研究フォーラム 近代における移民), *歴史と地理, 714,* 54-57, 2018年.
56. **新田 元規 :** 中喜来春日神社「敬渝碑」現代語訳(「天変地異をおそれつつしむ」の碑), *中喜来春日神社(板野郡松茂町中喜来)，「レキシルとくしま」(徳島県立埋蔵文化財総合センター) > 南海地震徳島県地震津波碑 (https://www.pref.tokushima.lg.jp/rekishiru/nankai/5026072/),* 2019年.
57. **新田 元規 :** 学校論の傍流としての黄宗羲『明夷待訪録』学校篇 ――「取士論政」「公其非是於學校」の学校論――, *第63回国際東方学者会議シンポジウムⅢ「明末清初研究の新動向Ⅱ」(日本教育会館),* 2018年5月.
58. **新田 元規 :** 漢文撰述地方誌としての『阿波志』, *阿波志調査会講演会(徳島市立徳島城博物館),* 2019年2月.
59. **新田 元規 :** 君主政体の成立起源論における「先有下而漸有上」説 ――黄宗羲『明夷待訪録』「原君」の位置, *共同研究「比較のなかの東アジアの王権論と秩序構想」2018年度第2回研究会(国際日本文化研究センター),* 2018年7月.
60. **新田 元規 :** 北宋濮議をめぐる評価の転換, *2018年度四国東洋学研究者会議(愛媛大学),* 2018年12月.
61. **富塚 昌輝 :** 明治期における徳島の新聞小説―『徳島新報』(1), *異文化に照らし出された四国―外国人ならびに国際的に活躍した四国出身者の残した文献の調査・研究から,* 88-99, 2019年3月.
62. **新田 元規 :** 濮議に対する評価の転換―理想君主論から民間継承論へ, *中国哲学研究, 30,* 54-99, 2019年.
63. **堤 和博 :** 『蜻蛉日記』上巻後半部の道綱母と時姫の短連歌の場面―「いとをかしと思ひけり」の主語は道綱母―, *語文, 112,* 19-31, 2019年.
64. **新田 元規 :** 黄宗羲『明夷待訪録』「原君」における君主政体の起源論, *中国 ―社会と文化, 34,* 81-101, 2019年.
65. **新田 元規 :** 清代禮學之中的「歷史性觀點」的淵源與展開——以沈垚〈為人後者為所生服議〉為中心, *張暁生〔主編〕『経学史研究的回顧与展望―林慶彰教授栄退紀念論文集』(万巻楼図書出版公司),* 419-432, 2019年.
66. **新田 元規 :** 喪礼における「祔祭」「遷廟」の解釈論 ―鄭玄と朱熹の所説を中心として, *徳島大学総合科学部人間社会文化研究, 27,* 38-80, 2019年.
67. **荒武 達朗 :** 明清華北の地域社会と宗族 : 莒州の事例研究, *徳島大学総合科学部人間社会文化研究, 27,* 81-116, 2019年.
68. **村上 敬一 :** コホート系列法による若年層方言の動態研究, *國際商貿與應用外語教學國際學術研討會,* 2019年10月.
69. **堤 和博 :** 蜻蛉日記上巻前半部研究, 新典社, 2020年10月.
70. **村上 敬一 :** 支援者向け方言パフレットの作成, くろしお出版, 東京, 2020年12月.
71. **新田 元規 :** 書評 岩本真利絵著 明代の専制政治, *東洋史研究,* **79,** *1,* 157-172, 2020年.
72. **堤 和博 :** 蜻蛉日記上巻後半部の始発から歌との別れへ―道綱母にとっての和歌―, *古代中世文学論考刊行会編『古代中世文学論考第41集』,* 55-84, 2020年.
73. **新田 元規 :** 章世純『治平要略』の地方統治論―晩明期経世論における「急國勢之道」, *徳島大学総合科学部人間社会文化研究, 28,* 1-59, 2020年.
74. **荒武 達朗 :** 旅順の''剣山記念塔''と戦前期徳島の地域社会, *徳島大学総合科学部人間社会文化研究,* **28,** 60-76, 2020年.
75. **荒武 達朗 :** 修学旅行日記の時代 : 1927年徳島商業学校満鮮への旅, *徳島大学総合科学部人間社会文化研究,* **29,** 1-59, 2021年.
76. **荒武 達朗 :** 評馬場毅『日中戦争与中国抗戦:以山東抗日根拠地為中心』, *抗日戦争研究,* **122,** 148-152, 2021年.
77. **堤 和博 :** 研究余滴道綱母と時姫の短連歌及び短連歌史余説, *解釈,* **66,** *9.10,* 52-53, 2020年10月.
78. **河田 和子 :** 貴司山治におけるモラエスの影響ー日本の文学者におけるモラエス受容ー, *令和2年度総合科学部創生研究プロジェクト経費・地域創生総合科学推進経費報告書 異文化に照らし出された四国∼グローカルな視点からの地域文化に関する文献調査から∼,* 73-86, 2021年3月.
79. **新田 元規 :** 『朱子語類』巻二十一訳注(2), *汲古, 79,* 38-43, 2021年.
80. **新田 元規 :** 伯夷・叔斉説話をめぐる弁疑とその君主論の含意――王直「夷斉十弁」を中心に, *伊東貴之〔編〕『東アジアの王権と秩序 ――思想・宗教・儀礼を中心として』(汲古書院),* 527-541, 2021年.
81. **新田 元規 :** 「文王称王」と「周公居摂」(上), *徳島大学総合科学部人間社会文化研究, 29,* 61-233, 2021年.
82. **新田 元規 :** 『朱子語類』巻二十一訳注(3), *汲古, 80,* 37-43, 2021年.
83. **堤 和博 :** 『本院侍従集』続考─兼通の描かれ方─, *徳島大学総合科学部言語文化研究,* **29,** 1-31, 2021年.
84. **竹元 規人 古勝 隆一, 渡邉 大 内山 直樹, 藤井 律之 田尻 健太 重田 みち, 永田 知之 福谷 彬 山口智弘, 新田 元規 :** 『文史通義』内篇五譯注, *東方学報, 97,* 235-373, 2022年.
85. **堤 和博 :** 『多武峯少将物語』の主題・冒頭・構成など─師輔・師氏の生活圏の作品群との比較─, *武蔵野文学, 69,* 8-13, 2021年.
86. **河田 和子 :** 戦前のモラエス受容における花野富蔵と佐藤春夫 ー日本の文学者におけるモラエス受容(2)ー, *令和 3 年度総合科学部創生研究 プロジェクト経費・ 地域創生総合科学推進経費報告書 異文化に照らし出された四国 ∼「グローカル」な観点からの文献調査から∼,* 70-84, 2022年3月.
87. **新田 元規 :** 湯來賀とその「水戸侯宰相上公六十壽序」, *徳島大学総合科学部人間社会文化研究, 30,* 1-39, 2022年.
88. **荒武 達朗 :** 山東省地方志の氏族表について, *資料学の方法を探る(愛媛大学「資料学」研究会),* **22,** 46-53, 2023年.
89. **堤 和博 :** 日記文学の始発―『蜻蛉日記』を中心に―, 2022年10月.
90. **村上 敬一, 田島 幹大 :** 「中高生日本語コンテスト」に参加して ー徳島県立池田高等学校探究科方言班の取り組みー, *日本語学会,* 2022年12月.
91. **新田 元規 :** 明清交替期における孝実践・善挙および「奇人」伝――湯來賀とその時代, *共同研究「東アジア」の「近世」―新しい世界史の認識と構想のために―」2022年度第2回研究会(国際日本文化研究センター),* 2022年9月.
92. **新田 元規 :** 湯來賀と『水戸侯宰相上公六十寿序』について, *2022年度四国東洋学研究者会議(徳島大学),* 2022年12月.
93. **村上 敬一 :** 四国の方言で桃太郎プロジェクト 四国方言桃太郎, *四国の方言で桃太郎プロジェクト 四国方言桃太郎,* 2023年3月.
94. **河田 和子 :** モラエス受容における正宗白鳥と志賀直哉ー日本の文学者におけるモラエス受容(3)ー, *令和4 年度総合科学部創生研究 プロジェクト経費・ 地域創生総合科学推進経費報告書 異文化に照らし出された四国 ∼地域における外国人受容の意義についての歴史的考察∼,* 60-78, 2023年3月.
95. **荒武 達朗 :** 清末民初魯南社會的動蕩與士紳地主, *新亞學報,* **40,** *1,* 62-82, 2023年.
96. **堤 和博 :** 日記文学の始発―『蜻蛉日記』上巻前半部を中心に―, *中古文学, 111,* 1-12, 2023年.
97. **新田 元規 :** 萬斯同『廟制圖考』の歴代廟制論 ――世代関係基準論への批判を中心として, *徳島大学総合科学部人間社会文化研究, 31,* 1-66, 2023年.
98. **荒武 達朗 :** ある宗族の形成 : 族譜編纂の虚構と事実, *徳島大学総合科学部人間社会文化研究,* **31,** 67-102, 2023年.
99. **荒武 達朗 :** "在台二世"文学者新垣宏一のモラエス研究 : その原点, *水脈 : 徳島県立文学書道館研究紀要, 20,* 1-18, 2024年.
100. **河田 和子 :** 中河與一「徳島のモラエス」とアルマンド・マルティンスの影響ー日本の文学者におけるモラエス受容(4)ー, *令和5年度総合科学部創生研究 プロジェクト経費・ 地域創生総合科学推進経費報告書 異文化から照らし出された四国 ∼グローカルな観点による外国人受容と交流についての文献調査∼,* 64-78, 2024年3月.
101. **堤 和博 :** 兼家の歌に自ら返歌する前の道綱母―『蜻蛉日記』上巻の「今これより」と「しれたるやうなりや」の検討を通して―, *語文, 122,* 1-11, 2024年.
102. **新田 元規 :** 光緖帝の継承をめぐる礼解釈, *東洋史研究,* **83,** *2,* 171-208, 2024年.
103. **村上 敬一 :** 社会の動きの中で方言をとらえる ――方言規範やアイデンティティとの関わりにおいて――, *日本語学,* **43,** *3,* 2024年.
104. **新田 元規 :** 沈約『宋書』禮志の史料的検討 ――全体構成と内部区分の整理を中心として, *資料学の方法を探る,* **24,** 33-42, 2025年.
105. **新田 元規 :** 嘉靖大礼議における継承解釈の転換――継承関係と父子関係の分離をめぐって, *徳島大学総合科学部人間社会文化研究, 32,* 13-90, 2024年.
106. **村上 敬一 :** 古典学習と地域方言の関連性についての研究 ー徳島県三好市西祖谷山村方言の否定·可能表現を例にー, *日本語探究のすすめ ー日本語学と国語教育の連携にむけてー,* 66-77, 2024年.
107. **カーテャ マリノヴァ, 橋本 智, 坂田 浩, 藤原 由紀子, 村上 敬一, チャン ホアンナム :** ブルガリア人研究者の徳島訪問からの洞察と示唆, *徳島大学高等教育研究センター学修支援部門国際教育推進班紀要年報,* **2024,** 1-6, 2025年.
108. **新田 元規 :** 書評――松野敏之『朱熹『小學』研究』, *日本中国学会2024年度『研究集録』書評シンポジウム報告,* 5-11, 2025年.
109. **新田 元規 :** 経書・経学，礼，宗廟, *川合康三・大谷雅夫・黒田真美子・小島毅・後藤昭雄〔編〕『中国/日本〈漢〉文化大事典』(明治書院), 20-26,114-119,148-150,* 2024年6月.
110. **新田 元規 :** 書評シンポジウム:松野敏之著『朱熹『小学』研究』, *日本中国学会第76回大会(二松学舎大学),* 2024年10月.
111. **村上 敬一 :** 九州方言の変容に関する経年調査研究 ―九州新幹線沿線を定点観測地として―, *九州方言研究会第57回研究発表会,* 2025年2月.